

日本化学会北海道支部 2016 年夏季研究発表会（室蘭大会）

実行委員長

上道 芳夫（室蘭工業大学）

2016 年の日本化学会北海道支部夏季研究発表会は、7 月 23 日（土）、室蘭工業大学において開催されました。参加者は、213 名（一般会員 71 名、一般非会員 9 名、学生会員 64 名、学生非会員 69 名）で、一般講演 117 件は 6 会場に分かれて各会場とも活発な質疑応答が行われました。また、支部総会では支部長の田中俊逸先生から支部活動報告と計画、昨年度決算と今年度予算案について説明と提案があり、了承されました。

特別講演は北海道教育大学函館校の松橋博美教授による「固体塩基としての酸化マグネシウム」と題して酸化マグネシウムの多様な触媒特性について表面活性点モデルを示しながらご講演頂きました。また、本大会では今年度日本化学会会長に就任されました山本尚会長をお招きして、特別講演をお願いしました。特別講演に先立って、北海道支部役員との懇談会も開かれました。特別講演では山本会長から「分子技術」と題して新学術領域である分子技術の概要と最近の成果についてご講演頂きました。

夕刻からは会場を市内の蓬峯殿に移して懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中で会員相互の親睦を深めました。

おわりに、夏季研究発表会の準備、実施にあたり多大なご協力を頂きました北海道支部役員の皆様、室蘭工業大学実行委員の皆様とお手伝いいただいた学生の皆さん、そしていろいろお世話頂きました北海道支部事務局大内さんをはじめ関係者各位に厚くお礼申し上げます。また、会場の施設、設備等で会員の皆様にご不便をおかけしたことがありましたら、この場を借りてお詫び申し上げます。